

2010年12月の発受電速報

<発受電電力量>

1. 全国の概要

12月の発受電電力量は、12月の気温が前年に比べて高めに推移し、暖房需要が減少したものの、産業用需要が堅調に推移していることなどから、10社計で847.7億kWh、前年同月比 100.9%となった。

(主な内訳)

「水力」：出水率が前年同月値を上回ったことなどから、42.2億kWh、前年同月比 120.9%となった。

「火力」：原子力発電電力量が減少したことなどから、426.4億kWh、前年同月比 107.9%となった。

「原子力」：設備利用率が前年同月値を下回ったことから、226.6億kWh、前年同月比 87.3%となった。

(参考 日本原電除きの設備利用率：当年度 65.9%、前年度 75.1%)

<出水率>

沖縄を除く9社計では 114.7%となった。

2. 発受電電力量実績の概要(10社計)

(単位：千kWh, %)

	当 月		至近3か月の対前年同月増加率			
	実 績	対前年同月増加率	11月	10月	9月	
発受電電力量	84,769,562	0.9	1.6	2.5	11.8	
発電内訳	水力	4,222,914	20.9	6.8	21.5	32.1
	火力	42,639,804	7.9	0.2	3.5	15.2
	原子力	22,662,315	12.7	3.2	11.4	4.2
	新エネルギー等	219,205	3.9	12.5	6.0	20.2
他社受電	15,421,119	1.2	3.3	1.5	13.7	
揚水動力	395,795	4.2	16.6	92.5	95.1	
出水率	114.7	(前年同月値) 89.8	103.8	94.4	87.8	
原子力設備利用率 (含む日本原電)	67.9	(前年同月値) 74.0	71.3	72.3	66.7	

注. 電気関係報告規則等の一部を改正する省令により、2010年5月分より以下の変更を行っています。

- ・発電内訳に「新エネルギー等(風力、太陽光および地熱等)」の項目を新設
- ・地熱発電電力量を「火力発電」から「新エネルギー等」に区分変更
- ・「揚水動力」の項目を新設

なお、「火力」、「新エネルギー等」および「揚水動力」における対前年同月増加率は、当月および至近3か月ともに、前年同月実績を変更後の区分にあわせて算定しています。

3. 発受電電力量の対前年同月増加率

(単位：%)

	2009年度	12	10/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
10社計	3.3	1.3	3.0	7.3	7.4	9.2	4.1	5.6	7.7	13.3	11.8	2.5	1.6	0.9

(注) 1. 2010年11月までは確報値 2. : 前年同月比マイナス

(参考)燃料実績:10社計(12月)

	石炭(t)	重油(kl)	原油(kl)	LNG(t)	ナガ(kl)
受入	4,944,751	572,355	265,766	3,945,089	0
消費	4,590,624	465,583	275,615	3,762,716	0